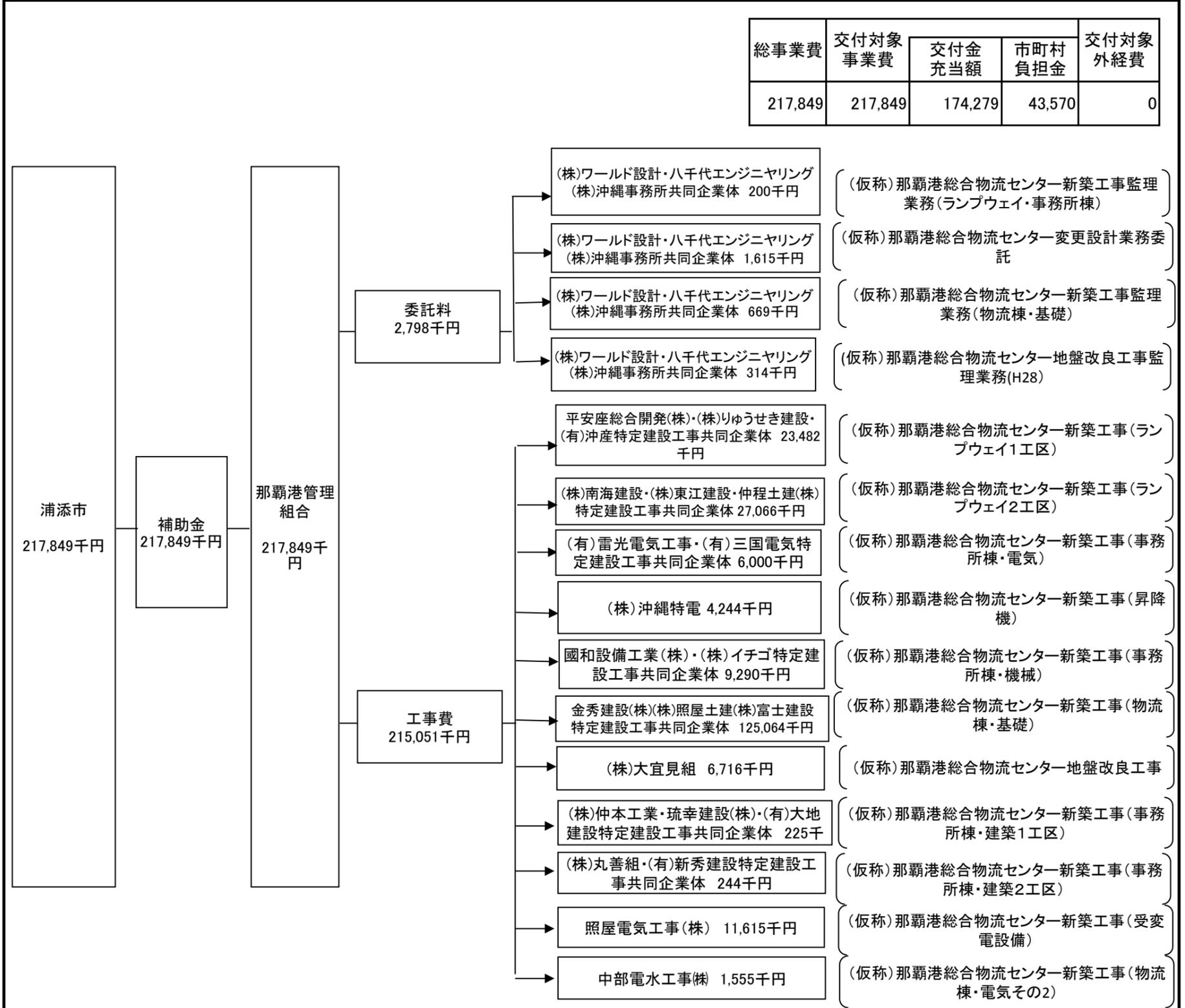


市町村名	浦添市						
平成28年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	6-① 那覇港総合物流センター整備事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(4)-(ア)		
担当部課名	企画部 西海岸開発局 西海岸開発課	事業実施(予定)年度	平成25~30年度	沖縄振興基本方針該当箇所	III-1-(3)		
事業内容	本県の生活・産業物資の輸送の大部分を担う港湾物流機能を改善し、従来型物流を高度化し、さらに付加価値型ものづくり産業の集積などの国際物流拠点の形成を図るため、ランプウェイ躯体工事及び物流センター本部基礎工事を行う。						
効果発現年度	<input type="checkbox"/> 当年度 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度(31年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		26年度(繰越)	27年度	27年度(繰越)	28年度	28年度(繰越)	
	予算の状況	(a) 当初予算額	-	151,300	-	196,849	-
		(b) 予算現額	-	151,300	-	217,849	-
		(c) 増減額(b-a)	-	0	-	21,000	-
		(d) 繰越額	8,110	-	101,473	-	88,541
		A. 計(b+d)	8,110	151,300	101,473	217,849	88,541
		B. 執行済額	8,082	49,827	101,473	129,308	88,541
		うち交付金充当額	6,466	39,861	81,178	103,446	70,832
		次年度繰越額	-	101,473	-	88,541	-
		執行率(%) (B/A)	99.7%	32.9%	100.0%	59.4%	100.0%
予算の状況の説明	・総合物流センター建設地の地中に当初把握していなかった多数の岩塊が確認されたことにより設計変更等に不測の日数を要したため、年度内完了が困難となったため、繰越を行った。						
活動目標(指標)及び達成状況	H28活動目標(指標)		達成状況				
			25年度	26年度	27年度	28年度	
	・ランプウェイ躯体工事の実施 ・物流センター本体部基礎工事の実施 ・構造規模:鉄筋コンクリート造・一部、鉄骨造 ・建築面積:1.5ha ・延べ面積:4.6ha		目標 (基本設計の実施)	(実施設計の実施)	(基礎工事の着手)	(・ランプウェイ躯体工事の実施 ・物流センター本体部基礎工事の実施)	
		実績	基本設計の実施	実施設計の実施	基礎工事の着手	・ランプウェイ躯体工事の実施 ・物流センター本体部基礎工事の実施	
達成状況説明	総合物流センター建設地の地中に当初把握していなかった多数の岩塊が確認されたことにより、設計変更等に不測の日数を要したため、建築工事がやや遅れているが、早期整備完了に向け分割発注や施工機械を増やし、平成30年の整備完了に向け、引き続き鋭意努める。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H28成果目標(指標)		基準値(23年度)	26年度	27年度	28年度	目標値(31年度)
	ランプウェイ躯体工事の完了 物流センター本体部基礎工事の完了		目標 ()	(実施設計業務の完了)	(基礎工事の完了)	(ランプウェイ躯体工事の完了、物流センター本体部基礎工事の完了)	()
			実績	実施設計業務の実施	・実施設計業務の完了 ・基礎工事の完了	地盤改良、高圧電気設備、ランプウェイ、事務所棟及び物流センター本体基礎工の完了	
	【H31成果目標】 那覇港総合物流センターの取扱貨物量の増		目標 ()	()	()	()	4,580TEU/年間
進捗状況説明	実施設計において、不測の時間を要したことから建築工事がやや遅れているが、物流センターの基礎工事まで完成した。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>・入居企業が決定し、入居企業が物流棟本体内で行う工事内容及び、開業予定時期が決定したことから、今後は、物流棟本体工事等に遅れが生じない等、十分な工程管理を行う必要がある。</p>	<p>・工事の進捗に影響が出ないよう、工程管理を行う必要があることから、施工上の問題点の確認など、現場状況のより詳細な把握に努める。</p>
今後の取り組み方針		
<p>・平成30年度の整備完了及び平成31年4月の供用開始に向け物流センターの本体工事の施工上の問題点の確認及び工程管理を行う。</p>		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)



資金の 使途の 流れ、 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<p>○一般競争入札の最低価格業者と契約を結んでいることから、支出先の選定方法は妥当であると考えます。</p> <p>○設計時において複数の工法から最も経済的な工法を選択していることから、予算規模は事業内容に見合っていると考えます。</p> <p>○費目、使途については、関連書類を確認し、適正であった。</p>
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名 浦添市

平成28年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】

Table with 4 columns: 事業番号・事業名 (6-2, 臨港道路浦添線無電柱化事業), 担当部課名 (企画部 西海岸開発局 西海岸開発課), 事業実施(予定)年度 (平成27-29年度), 沖繩21世紀ビジョン基本計画該当箇所 (第3章-3-(1)-(イ), 第3章-3-(4)-(ア)), 沖繩振興基本方針該当箇所 (3-3-(4)-ア)

事業内容 那覇港浦添ふ頭地区の臨港道路浦添線において、観光立県おきなわのウォーターフロント景観の向上及び災害に強い安心安全な港まちづくりに向けて、無電柱化を行う。

効果発現年度 当年度 後年度(31年度)

実施方法 直接実施 委託 補助 負担 その他 ()

Table with 6 columns: 27年度, 28年度, 28年度(繰越), 29年度, 30年度. Rows include: 予算額・執行額 (a)当初予算額, (b)予算現額, (c)増減額(b-a), (d)繰越額, A.計(b+d), B.執行済額, うち交付金充当額, 次年度繰越額, 執行率(%) (B/A), 予算の状況の説明

Table with 5 columns: H28活動目標(指標), 26年度, 27年度, 28年度, 29年度. Rows include: 活動目標(指標)及び達成状況 (入線に関する委託業務(補償)及び入線工事の実施(補償)), 達成状況説明

Table with 7 columns: H28成果目標(指標), 基準値(年度), 28年度, 29年度, 30年度, 目標値(31年度). Rows include: 成果目標(指標)及び進捗状況 (入線に関する委託業務の完了(電線管理者への補償)早期の事業進捗を図る。), 【H31成果目標】無電柱化により災害に強いまちづくりが達成されたかについては、自然災害による断線被害が発生しないことで検証可能であることから、整備箇所における断線被害0件を目指す。), 進捗状況説明

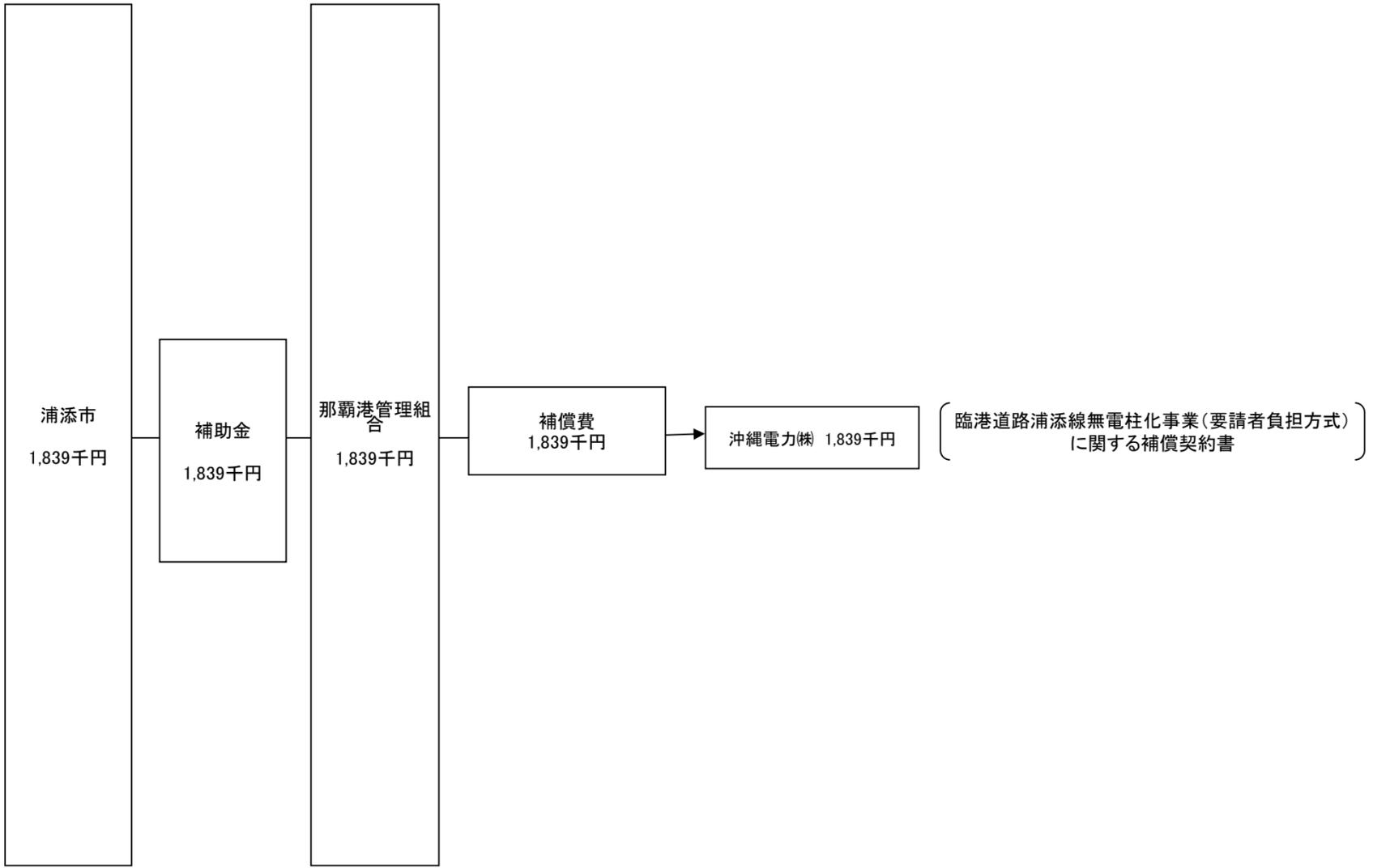
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>・平成31年秋頃に大型商業施設が開業する予定であり、早期に整備を完了する必要がある。</p>	<p>・大型商業施設事業者や電線管理者と情報共有及び密な調整を行い、徹底した工程管理を行う必要がある。</p>

今後の取り組み方針

・大型商業施設利用者等、関係機関との情報共有及び密な調整を行い、スケジュールに想定外の事項が生じないか入念に確認し、作業状況及び現場状況等の把握に努める。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何をを行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
1,839	1,839	1,471	368	0



資金の流 れ、 点 検 評 価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<p>○入線補償は覚書・協定書に基づき沖縄電力に補償しており、支出先としては妥当であるとする。</p> <p>○予算規模、費目、用途については、関連書類を確認し、適正であった。</p>
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	浦添市						
平成28年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	6-③	那覇港(泊ふ頭)陸上電力供給施設整備事業					
担当部課名	企画部 西海岸開発局 西海岸開発課	事業実施(予定)年度 平成28年度					
事業内容	観光客を受け入れる港として、停泊中の船舶からの排気ガス削減や騒音を抑制し、快適な環境の確保を図るため、泊ふ頭に陸上電力供給施設を整備する。						
効果発現年度	<input type="checkbox"/> 当年度 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度(33年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		28年度	28年度(繰越)	29年度	29年度(繰越)	30年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	4,342				
		(b) 予算現額	4,342				
		(c) 増減額(b-a)	0	0			
		(d) 繰越額	-	4,089			
		A. 計(b+d)	4,342	4,089			
	B. 執行済額		253	3,969			
	うち交付金充当額		203	3,175			
	次年度繰越額		4,089	0			
	執行率(%) (B/A)		5.8%	97.1%			
予算の状況の説明		当該設備を利用する予定の各船社からの要望を踏まえた受電設備に係る仕様の決定について、関係者間の協議を踏まえ仕様を見直すことにより、不測の日数を要した。 また、当該設備の配置の検討において関係者との調整に不測の日数を要し、設計業務の完了に遅れが生じたことから、4,089千円をH29年度に繰り越した。					
活動目標(指標)及び達成状況	H28活動目標(指標)		達成状況				
			28年度	29年度	30年度	31年度	
	那覇港(泊ふ頭)陸上電力供給施設の実施設設計並びに整備工事の実施	目標 ()	実施				
実績		実施					
達成状況説明	陸上電力供給施設については、平成29年10月に3基全て整備を完了した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H28成果目標(指標)		基準値(年度)	28年度	29年度	30年度	目標値(33年度)
	陸上電力供給施設整備 3基		目標 ()	(3基)	()	()	()
			実績	3基			
	【H33成果目標】 観光客を受け入れる港として快適な環境が確保されていると感じるか(80%以上)を含め、船舶運航事業者へアンケートを行い、本事業のあり方を検証する。		目標 ()	()	()	()	船舶運航事業者へのアンケートにより、観光客を受け入れる港として快適な環境が確保されていると感じるか。(80%以上)
進捗状況説明	陸上電力供給施設については、平成29年10月に3基全て整備を完了し、陸上からの電力供給が可能となった事により良好な港湾環境の改善を図った。						

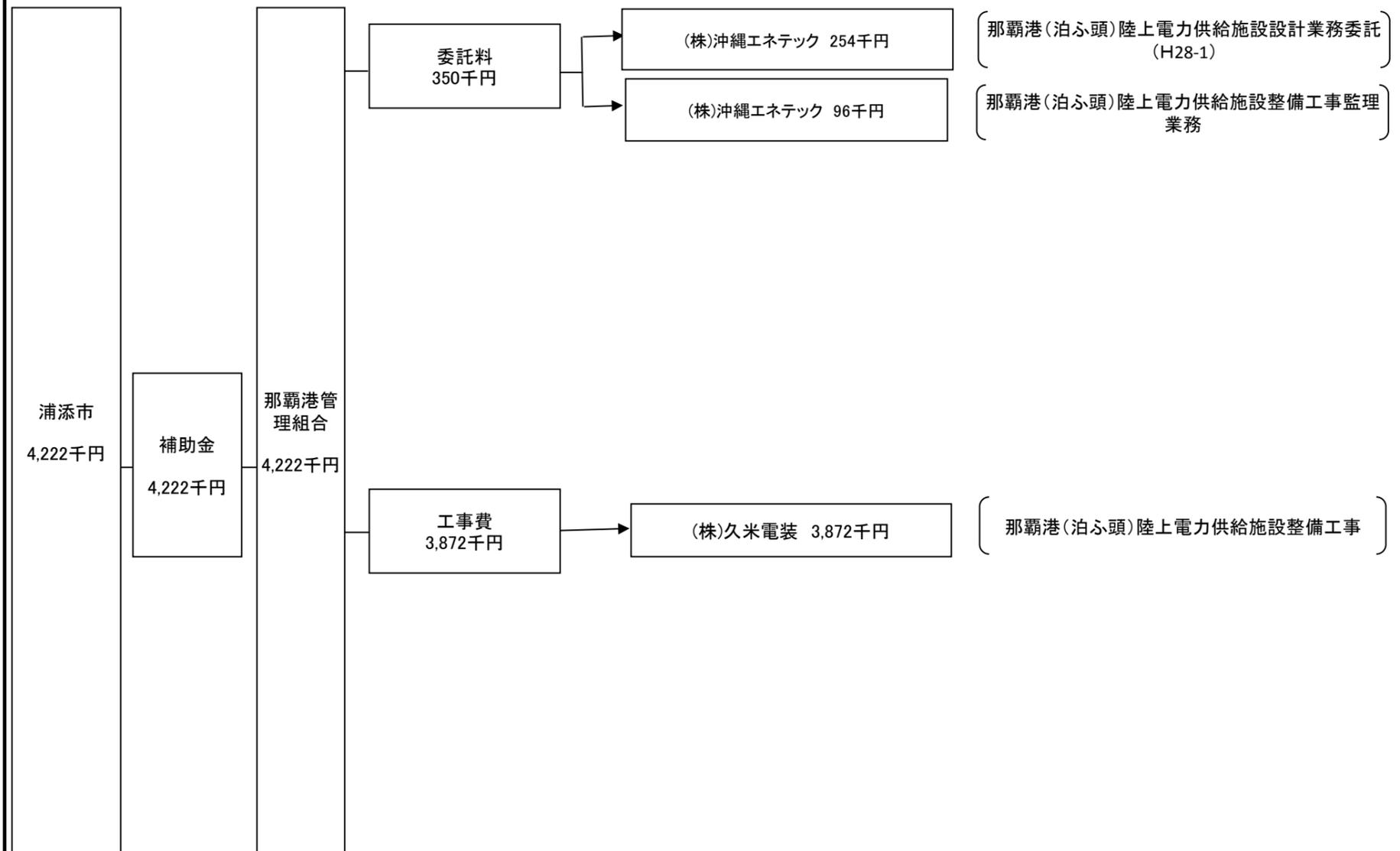
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>・今後も那覇港における旅客者数の増加が見込まれるため、観光地としての快適な周辺環境の整備の重要性が増している。</p>	<p>・県及び那覇港管理組合は、観光客・利用者の安全性・快適性・利便性を考慮した施設整備に取り組む必要がある。</p>

今後の取り組み方針

・今後においては、泊ふ頭の屋根付き歩道の整備等を推進し、観光客・利用者の安全性・快適性・利便性に寄与するよう努める。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
4,222	4,222	3,377	845	0



資金の流点・費目・評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○一般競争入札の最低価格業者と契約を結んでいることから、支出先の選定方法は妥当であると考えられる。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○設計時において複数の工法から最も経済的な工法を選択していることから、予算規模は事業内容に見合っていると考える。
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目、用途については、関連書類を確認し、適正であった。
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

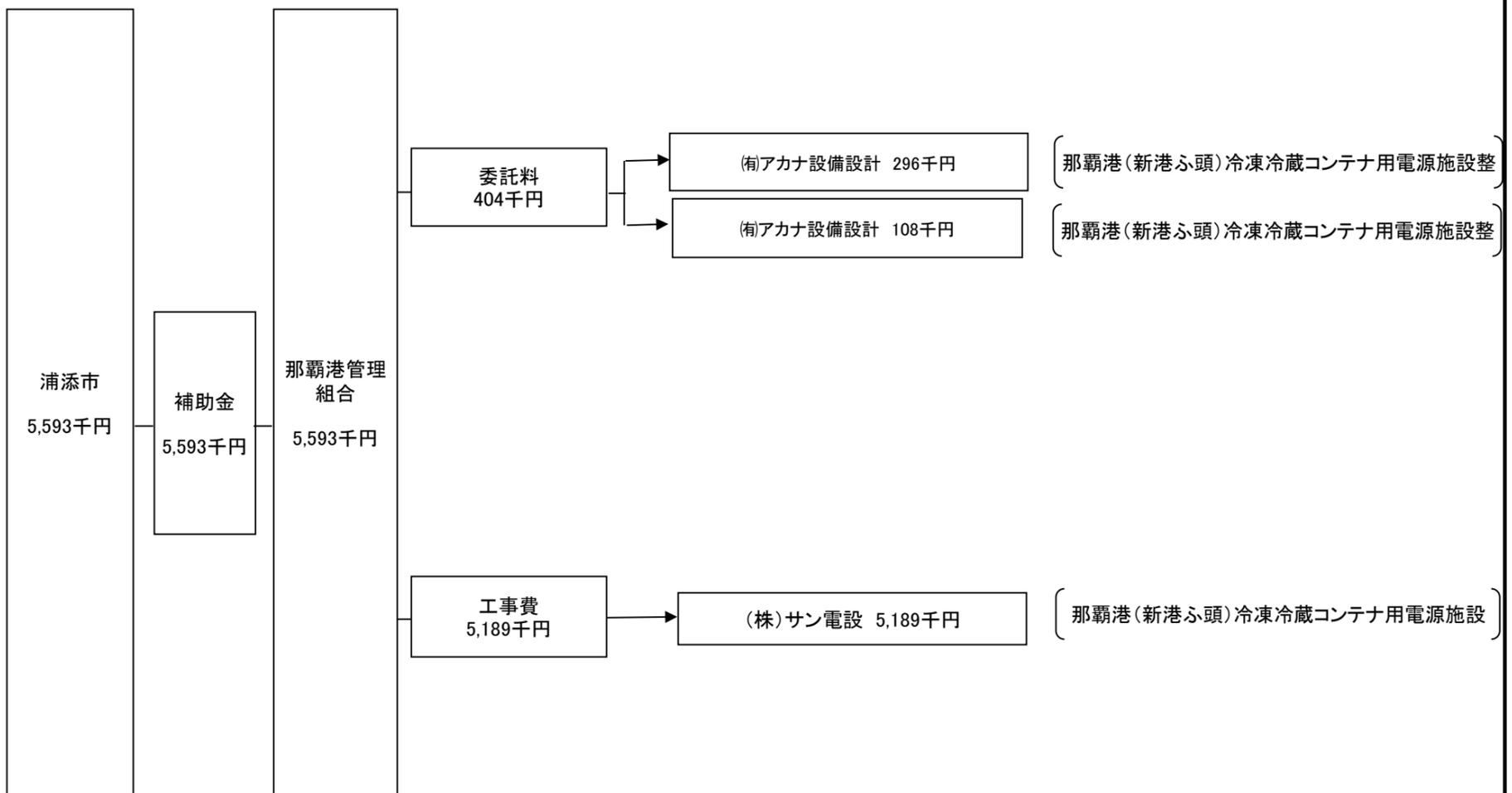
市町村名	浦添市						
平成28年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	6-④ 冷凍冷蔵コンテナ用電源整備事業	第3章-3-(4)-(ア) 沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所 臨港・臨空型産業の集積による国際物流拠点の形成					
担当部課名	企画部 西海岸開発局 西海岸開発課	事業実施(予定)年度 平成28年度 沖縄振興基本方針該当箇所 III-1-(3)					
事業内容	新港ふ頭の国産コンテナターミナルには、冷凍食品等低温輸送用コンテナのため既存のリーファー電源が設置されているが、年々増大している冷凍冷蔵コンテナ需要に対応するため、さらなる増設を行い、那覇港における取扱貨物量の増加を図る。						
効果発現年度	<input type="checkbox"/> 当年度 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度(33年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		28年度	28年度(繰越)	29年度	30年度	31年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	6,606	—			
		(b) 予算現額	6,606	—			
		(c) 増減額(b-a)	0	—			
		(d) 繰越額	—	—			
		A. 計(b+d)	6,606	6,606			
	B. 執行済額		0	5,593			
	うち交付金充当額		0	4,474			
	次年度繰越額		6,606	—			
	執行率(%) (B/A)		0.0%	84.7%			
予算の状況の説明		・リーファー電源の設置箇所の選定に伴う調整に不測の時間を要したことから、設計業務発注に遅れが生じ、6,606千円をH29年度に繰越した。 ・当初は、既存の電気室を増築し、リーファー電源の増設を行う予定であったが、既存の電気室の容量が22口分の増設まで対応可能であり、増築する必要がなくなった。そのことから電気室の設計費が不用となった。					
活動目標(指標)及び達成状況	H28活動目標(指標)		達成状況				
			28年度	29年度	30年度	31年度	
	・リーファー電源及び電気室の実施設計の実施	目標	(実施設計の実施)	()	()	()	
		実績	実施設計の実施				
・リーファー電源10口設置工事の実施	目標	(10口)	()	()	()		
	実績	22口					
達成状況説明	・リーファー電源の整備については、平成30年1月に22口設置し、整備完了した。 ・当初は、既存の電気室を増築し、リーファー電源の増設を行う予定であったが、既存の電気室の容量が22口分の増設まで対応可能であり、増築する必要がなくなった。そのことから電気室の設計が不用となった。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H28成果目標(指標)		基準値(年度)	28年度	29年度	30年度	目標値(33年度)
	リーファー電源及び電気室の実施設計完了	目標	()	(実施設計完了)	()	()	()
		実績		実施設計完了			
	リーファー電源10口設置完了	目標	()	(10口設置完了)	()	()	()
		実績		22口設置完了			
【H33成果目標】 那覇港のリーファーコンテナの取扱貨物量の増加	目標	(—)	(—)	(—)	(—)	76万トン	
進捗状況説明	リーファー電源の整備について22口設置したことにより、冷蔵・冷凍コンテナの需要に対応できる施設が増加し、那覇港の取扱貨物量の増加が見込まれる。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	・那覇港の取扱貨物量を増加させるために、荷主等に対する支援や施設等の充実を図る必要がある。	・那覇港総合物流センターの開設や、荷主等への支援等を一体的に展開していくことで、那覇港の取扱貨物量の増加に寄与する。

今後の取り組み方針
・今後においては、那覇港総合物流センターの開設や、荷主等への支援を一体的に展開し、那覇港の取扱貨物量の増加へつながっていくよう努める。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
5,593	5,593	4,474	1,119	0



資金の流れ、費目・用途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○一般競争入札の最低価格業者と契約を結んでいることから、支出先の選定方法は妥当であると考え。 ○設計時において複数の工法から最も経済的な工法を選択していることから、予算規模は事業内容に見合っていると考え。 ○費目、用途については、関連書類を確認し、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	